

ひよっとこ踊りハワイで交流

ステージ・パレードに参加

「受け入れてもらえた」 十屋日向市長に報告

米国ハワイ州ホノルル市で6月に開かれた「第39回まつりインハワイ」に日向市から派遣された同市無形民俗文化財の日向ひよっとこ踊りの市民交流団のメンバーが4日に市役所を訪れ、十屋幸平市長に現地で国際交流の様子を報告した。



「日向ひよっとこ踊り市民交流団」の参加メンバー（提供写真）



パレードで日向ひよっとこ踊りを披露する参加メンバー（提供写真）



言葉は通じなくても沿道の見物客に好評だった（提供写真）

同市では2020年東京オリンピック・パリンピック競技大会で米国のホストタウンに正式登録されており、今回の派遣は今年度のホストタウン推進事業の一環。派遣されたのは橘

ひよっとこ踊り保存会および日向ひよっとこ夏祭り実行委員会を中心とした30人。一行は7〜10日の4日間、同まつりの3つのステージとパレードに計4回出演したほか、日向ひよっとこ踊りのミニ

講習会などで市民と交流した。また、現地のハワイ宮崎県人会や、平成19（2007）年から学術交流協定を結び、日向市内小学校と相互交流している同州のモミラニ小学校の

児童のほか、ハワイサーフィンチーム関係者と面会し、親睦も深めた。この日は団長を務めた日向ひよっとこ夏祭り実行委員会副会長で同市観光協会長の松葉藤吉さん（73）と、橘ひよっとこ踊り保存会の上山利幸会長（70）、高橋安光副会長が訪問。松葉団長は「思った以上に海外の方に受け入れてもらえて良かった。日向ひよっとこ踊りがますます盛んになり、国内外からもっと多くの

皆さんが日向市に来てもらえるとうれしい」と期待を寄せた。上山会長は「笑いは万国共通でした。ミニ講習会も非常に盛り上がり、しっかりと日向市をPRできました。高橋副会長は「パレードをした70団体の中で唯一、市民と直接触れ合うことができ喜んでもらえた」とそれぞれ手応えを話した。十屋市長は「文化交流はホストタウン事業の一つの大きなテーマであり、苦勞さまでした。今後はハワイの県人会の皆さんにも覚えて広めていただき、新たなチームができて日向ひよっとこ夏祭りに参加してもらえるとうれしいですね」と話し、交流団メンバーの労をねぎらった。

今回のハワイ派遣は国際的に異文化交流を図ることで、日本や日向市の魅力を広く発信し、新たな訪日観光に向けた誘客を図るとともに、米国サーフィンチームの同市での事前合宿や事後交流の誘致を目的に計画された。

大判サイズののぼり旗新調

後援会 琴恵光の勝利願

琴恵光延岡後援会(稲田義美会長)はきょう、勝利の花火を打ち上げる延岡市大貫町に新調した

のぼり旗を揚げた。のぼり旗は「琴恵光」の大きな文字がプリントされ、これまで1尺80センチ

だったのを、縦5尺40センチ、横90センチと大判サイズにした。本場所の会場に掲げられているのぼり旗と同

稲田会長は「十両で幕の内力士と互角に戦っていた。駿敏な動きでまずは勝ち越してほしい。延岡市民みんな応援してください」と期待を込めた。同後援会は、本場所ですべて琴恵光関が勝利した日は、午後6時に花火を上げる予定。



延岡市大貫町に掲げられたのぼり旗(きょう午前)

まつりのべおか

21日、出会い神輿、総踊り 28日、1万発の花火大会

今年のまつりのべおかは今月21日に出会い神輿（みこし）やばんば総踊り、太鼓競演会。28日に1万発を打ち上げる花火大会を開催する。第42回まつりのべおか実行委員会（矢北浩士実行委員長）が5日に詳細を発表した。矢北実行委員長は「あたたかい心『ふるさとを思う心』『感謝の心』の三つの心を表現できるまつりのべおかにしたい」と意気込みを話した。

出会い神輿、総踊りは雨決行、荒天の場合は中止。花火大会は雨天の場合は翌20日に延期する。

21日の出会い神輿は、岡市中央通交差点を主会場に開催。午後5時から開会式があり、太鼓競

演会と子ども神輿。約1200人が担ぐ「出会い神輿」がある。ばんば総踊りは同7時30分から。旧消防署・市役所間で約3千人が大きな輪になり、丸岡音頭、新ばんば踊りを踊る。また、市役所前駐車場

の特設ステージでは同日午前11時30分から「ばんば太鼓打ちコンクール」がスタート。郷土芸能保存会が同午後4時30分から伝統のばんば踊りを披露、続けて太鼓競演会があり、延岡市、宮崎市、大分県佐伯市の和太鼓6団体が出場する。

市役所前駐車場では午後1時からチキン南蛮やメヒカリなどの飲食物を販売。閉会後は市役所前通公園で神楽が奉納される。

28日の花火大会は午後8時から大瀬大橋下流の「かわまち交流館」近くの大瀬川右岸河川敷をメイン会場に、対岸から1万発を打ち上げる。メイン会場には多くの屋台が並び、打ち上げ易折丘

の花火は昨年の4千発から大幅に増やした。実行委員会によると三つの見どころがあるという。県内最大級の音楽と花火がシンクロした「ミュージックスターメイン」でスタート、中盤に目玉となる伝統の花火「和火」を打ち上げる。矢北実行委員長によると、和火は江戸時代に打ち上げられていた花火で現代のカラフル花火ではなく赤一色の花火。打ち上げられるのは県内初という。ラストは3分間に3千発の花火を打ち上げ盛大にクライマックスを迎える。

打ち上げ場所対岸に特設される「食べる！ 飲める！ 花火ガーデン」（960席）は午後4時に開場する。また、同5

時30分から特設ステージで元大相撲力士でタレントのKONISHIKIさんとハワイアンバンドが出演する。

花火ガーデンのチケット販売中
第42回まつりのべおか実行委員会は各種イベントへの参加、チケットの申し込みを受け付けている。

参加者を募っているのは、小中学生が神輿6基を担いで中央通交差点付近を練り歩く「子ども神輿」。無料。参加者は法被を着て午後5時30分から15分間神輿を担ぐ。

ばんば総踊りに楽しく元気に踊っている人に観客がメダルを掛ける「ばんば名人メダル」が2年ぶりに復活。ばんば名人メダルを多く獲得した人は花火大会で表彰する。メダルは2枚100円。収益金はまつりの運営に使われる。

「食べる！ 飲める！ 花火ガーデン」もチケットを販売中。10人テ

1フルが1万円、8人用が6千円、4人用が3千円。既に半分の席が売れている。

まつりのべおかに関する詳しい問い合わせは同実行委員会事務局（宮延岡32・6141）。

プログラムは次の通り。
【21日】
ばんば太鼓打ちコンクール（午前11時30分）
午後1時15分、市役所前特設ステージ▽まつりのべおか物産展（同1時～8時30分、市役所前駐車場）
▽郷土芸能（同4時30分～5時）
▽開会式（同5時～5時30分、中央通特設ステージ）
▽太鼓競演会（同5時30分～8時20分、市役所前ステージ）
▽子どもみこし（同5時30分～5時45分、中央通交差点付近）
▽出会い神輿（同6時30分～7時20分、同）
▽丸岡音頭（同7時30分～7時45分、旧消防署・市役所前）
▽ばんば総踊り（同7時45分～8時20分）
▽閉会式（同8時30分～同8時45分、中央通特設ステージ）
▽お旅所の神楽奉納（同9時15分～11時、市役所前交通公園）
【28日】
花火大会（午後8時～8時45分、大瀬川河川敷・大貫町側）
▽食べる！ 飲める！ 花火ガーデン（同6時～8時45分）



2回まつりのべおかの成功に向けて「バンバロー三唱」する矢北実行委員長（左から2番目）たち

8時から大瀬大橋下流の「かわまち交流館」近くの大瀬川右岸河川敷をメイン会場に、対岸から1万発を打ち上げる。メイン会場には多くの屋台が並び、打ち上げ易折丘

の花火は昨年の4千発から大幅に増やした。実行委員会によると三つの見どころがあるという。県内最大級の音楽と花火がシンクロした「ミュージックスターメイン」でスタート、中盤に目玉となる伝統の花火「和火」を打ち上げる。矢北実行委員長によると、和火は江戸時代に打ち上げられていた花火で現代のカラフル花火ではなく赤一色の花火。打ち上げられるのは県内初という。ラストは3分間に3千発の花火を打ち上げ盛大にクライマックスを迎える。

打ち上げ場所対岸に特設される「食べる！ 飲める！ 花火ガーデン」（960席）は午後4時に開場する。また、同5

時30分から特設ステージで元大相撲力士でタレントのKONISHIKIさんとハワイアンバンドが出演する。

花火ガーデンのチケット販売中
第42回まつりのべおか実行委員会は各種イベントへの参加、チケットの申し込みを受け付けている。

参加者を募っているのは、小中学生が神輿6基を担いで中央通交差点付近を練り歩く「子ども神輿」。無料。参加者は法被を着て午後5時30分から15分間神輿を担ぐ。

ばんば総踊りに楽しく元気に踊っている人に観客がメダルを掛ける「ばんば名人メダル」が2年ぶりに復活。ばんば名人メダルを多く獲得した人は花火大会で表彰する。メダルは2枚100円。収益金はまつりの運営に使われる。